

# 家族や家庭生活のあり方に関する意識調査

## 結果報告書

令和6年6月  
京都市



## 目 次

I. 調査の概要 .....	1
1 調査の目的 .....	1
2 調査設計 .....	1
3 調査結果の見方 .....	1
II. 調査結果 .....	2
1 回答者自身について .....	2
2 結婚について .....	6
3 子どもの人数について .....	15
4 真のワーク・ライフ・バランスについて .....	24
5 自由記述 .....	27
III. 参考資料(調査票) .....	28



# I. 調査の概要

## 1 調査の目的

市内在住の18歳から49歳までの方を対象に、結婚・出産に関する意識やご意見等をお聞かせいただき、今後の京都市の少子化対策等に向けた基礎資料とする目的で調査しました。

## 2 調査設計

対象	京都市に在住する18歳～49歳までの市民
調査実施時期	令和5年10月23日～10月30日
調査方法	WEB回答方式（インターネットリサーチ会社が保有するモニターから上記対象に該当する方に対し調査協力を依頼。）
有効回答数	1,000人

## 3 調査結果の見方

- ①図中の「n」は、設問に対する回答者数のことを示します。
- ②回答比率（%）は回答者数（n）を100%として算出し、小数点以下第2位を四捨五入して表示しました。四捨五入の結果、内訳の合計が計に一致しないことがあります。
- ③図表中に「MA%」の表示がある場合は、複数回答を依頼した質問であり、回答比率（%）の計は100.0%を超えます。
- ④図表において、回答選択肢を簡略化して表記している場合があります。
- ⑤図表のn値が少ない場合、見方には注意が必要です。

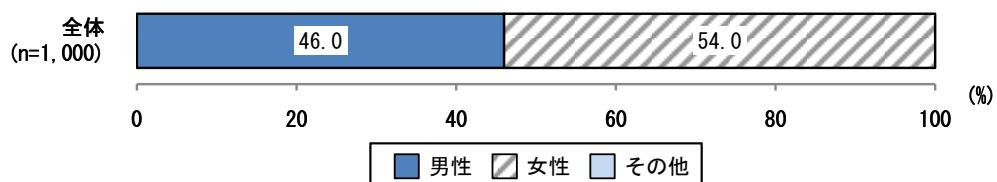
## II. 調査結果

### 1 回答者自身について

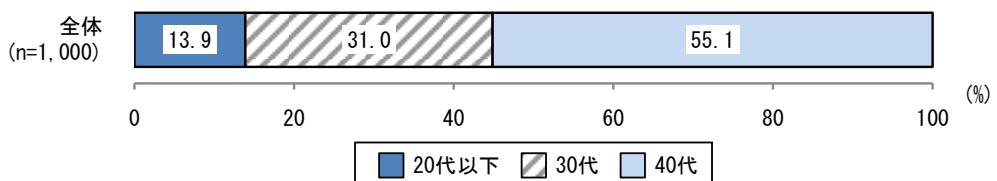
#### 1. 性別と年齢

【図1-1 性別と年齢】

<性別>

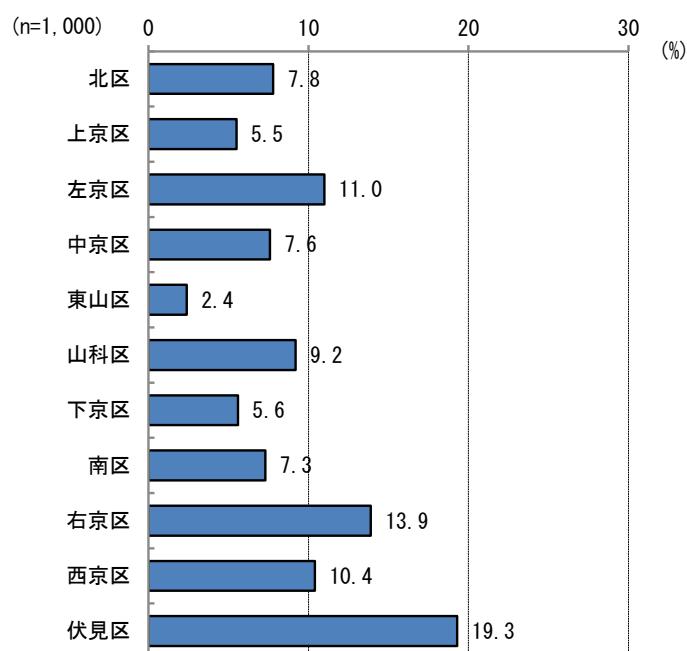


<年齢>



#### 2. 居住区

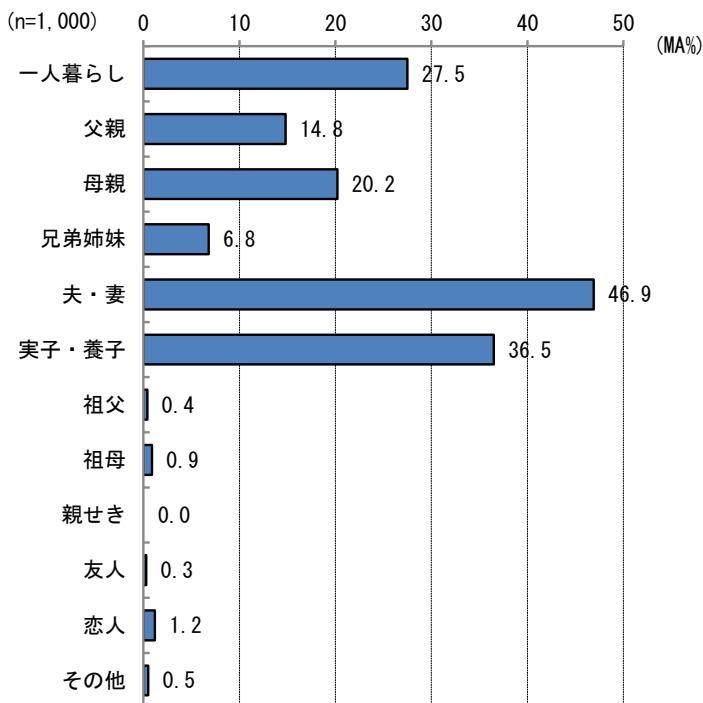
【図1-2 居住区】



### 3. 一緒に暮らしている人

問3 あなたはだれと一緒に暮らしていますか。(複数回答可)

【図1-3 一緒に暮らしている人】



一緒に暮らしている人は、「夫・妻」が 46.9% と最も多く、次いで「実子・養子」が 36.5%、「一人暮らし」が 27.5%、「母親」が 20.2%、「父親」が 14.8% となっています。(図 1-3)

【表1-3-1 性年齢別 一緒に暮らしている人】

	n	一人暮らし	父 親	母 親	兄 弟 姉妹	夫・妻	実 子 ・養 子	祖 父	祖 母	親 せ き	友 人	恋 人	そ の 他
男性計	460	29.8	14.8	20.4	6.5	48.0	36.3	0.2	0.7	0.0	0.2	0.4	0.7
20代以下	41	58.5	17.1	19.5	12.2	19.5	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	128	28.1	14.1	21.1	5.5	50.8	32.8	0.8	0.8	0.0	0.8	0.8	0.0
40代	291	26.5	14.8	20.3	6.2	50.9	42.3	0.0	0.7	0.0	0.0	0.3	1.0
女性計	540	25.6	14.8	20.0	7.0	45.9	36.7	0.6	1.1	0.0	0.4	1.9	0.4
20代以下	98	36.7	29.6	34.7	18.4	21.4	11.2	3.1	3.1	0.0	0.0	2.0	0.0
30代	182	25.3	11.0	19.2	3.8	47.8	36.8	0.0	1.1	0.0	0.5	2.7	0.0
40代	260	21.5	11.9	15.0	5.0	53.8	46.2	0.0	0.4	0.0	0.4	1.2	0.8

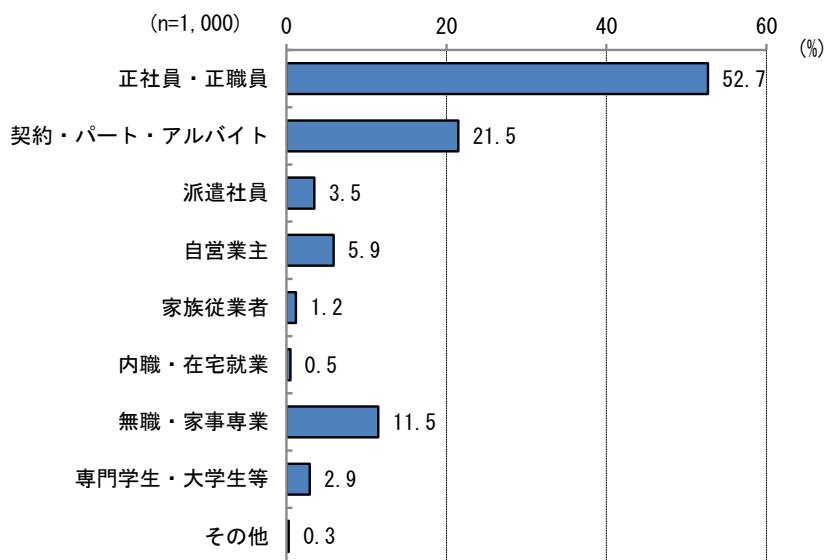
性別でみても、男女とも「夫・妻」が最も多く、傾向に大きな違いはみられません。

性年齢別でみると、男女とも 20 代以下は「一人暮らし」が最も多く、女性 (36.7%) より男性 (58.5%) のほうが 21.8 ポイント高くなっています。(図 1-3-1)

#### 4. 就労形態

問4 あなたの就労形態をお答えください。(○は1つ)

【図1-4 就労形態】



就労形態は、「正社員・正職員」が 52.7% と最も多く、次いで「契約・パート・アルバイト」が 21.5%、「無職・家事専業」が 11.5%、「自営業主」が 5.9% となっています。(図 1-4)

【表1-4-1 性年齢別 就労形態】

	n	正社員・正職員	パート・アルバイト	派遣社員	自営業主	家族従業者	内職・在宅就業	無職・家事専業	専門学生・大学生等	その他	(%)
男性計	460	68.9	9.8	2.4	9.1	0.4	0.7	6.7	1.7	0.2	
20代以下	41	61.0	9.8	0.0	2.4	0.0	0.0	9.8	17.1	0.0	
30代	128	74.2	8.6	0.8	5.5	0.8	1.6	7.8	0.8	0.0	
40代	291	67.7	10.3	3.4	11.7	0.3	0.3	5.8	0.0	0.3	
女性計	540	38.9	31.5	4.4	3.1	1.9	0.4	15.6	3.9	0.4	
20代以下	98	44.9	20.4	2.0	1.0	1.0	1.0	8.2	21.4	0.0	
30代	182	47.3	26.9	6.0	3.3	0.0	0.5	15.9	0.0	0.0	
40代	260	30.8	38.8	4.2	3.8	3.5	0.0	18.1	0.0	0.8	

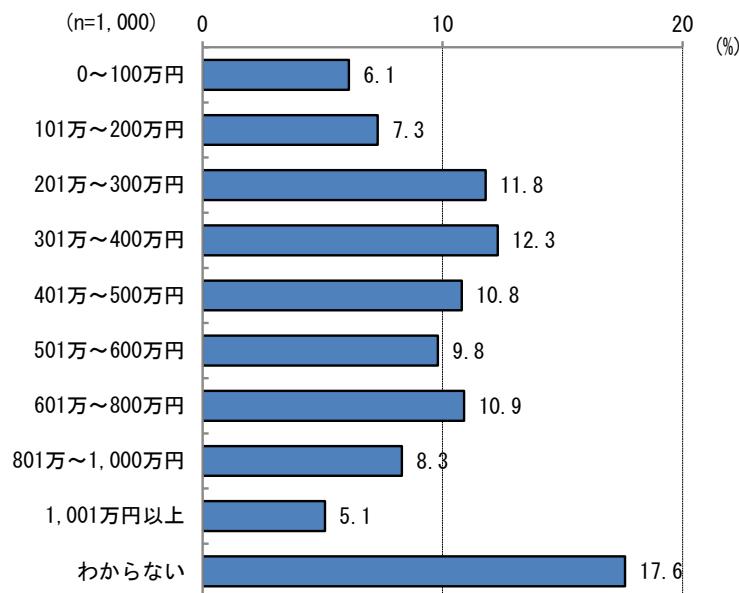
性別でみると、男女とも「正社員・正職員」が最も多く、女性 (38.9%) より男性 (68.9%) のほうが 30.0 ポイント高くなっています。

性年齢別でみると、女性の 40 代で「契約・パート・アルバイト」が 38.8% と割合が高くなっています。(表 1-4-1)

## 5. 可処分所得

問5 あなたの世帯の昨年1年間（令和4年1月1日～同年12月31日）の可処分所得（実収入から税金や社会保険料等を引いたいわゆる手取り収入）はおおよそどのくらいですか。（○は1つ）

【図1-5 可処分所得】



世帯の昨年1年間の可処分所得は、「301万～400万円」が12.3%と最も多く、次いで「201万～300万円」が11.8%、「601万～800万円」が10.9%となっています。（図1-5）

【表1-5-1 性年齢別 可処分所得】

	n	0 万 円	2 1 万 円	3 2 万 円	4 3 万 円	5 4 万 円	6 5 万 円	8 6 万 円	1 8 万 円	以 1 万 円	わ か ら な い
男性計	460	4.8	4.6	8.5	13.9	10.2	11.1	14.8	12.0	6.3	13.9
20代以下	41	9.8	2.4	14.6	7.3	17.1	12.2	9.8	7.3	4.9	14.6
30代	128	3.1	5.5	8.6	14.1	11.7	10.2	18.8	9.4	4.7	14.1
40代	291	4.8	4.5	7.6	14.8	8.6	11.3	13.7	13.7	7.2	13.7
女性計	540	7.2	9.6	14.6	10.9	11.3	8.7	7.6	5.2	4.1	20.7
20代以下	98	9.2	4.1	19.4	17.3	5.1	7.1	7.1	4.1	4.1	22.4
30代	182	7.7	11.0	11.0	11.5	11.5	8.8	10.4	3.3	6.0	18.7
40代	260	6.2	10.8	15.4	8.1	13.5	9.2	5.8	6.9	2.7	21.5

性別でみると、男性は「601万～800万円」が14.8%と最も多く、次いで「301万～400万円」が13.9%となっています。女性は「201万～300万円」が14.6%と最も多く、次いで「401万～500万円」が11.3%となっています。

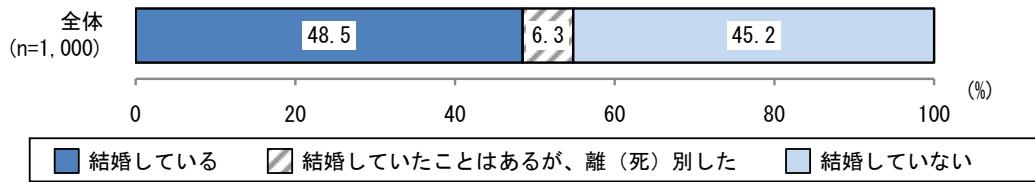
性年齢別でみると、男性の30代は「601万～800万円」が最も多くなっています。（表1-5-1）

## 2 結婚について

### 1. 結婚の有無

問6(1) あなたは結婚（法的な婚姻関係にない場合も含みます）していますか。  
(○は1つ)

【図2-1 結婚の有無】



結婚の有無は、「結婚している」が 48.5%、「結婚していたことはあるが、離（死）別した」が 6.3%、「結婚していない」が 45.2% となっています。(図 2-1)

【表2-1-1 性年齢別 結婚の有無】

	n	結婚している	しあわせたる婚がして離いた死こと別は	結婚していない
男性計	460	49.3	5.0	45.7
20代以下	41	19.5	0.0	80.5
30代	128	51.6	2.3	46.1
40代	291	52.6	6.9	40.5
女性計	540	47.8	7.4	44.8
20代以下	98	22.4	0.0	77.6
30代	182	48.9	6.0	45.1
40代	260	56.5	11.2	32.3

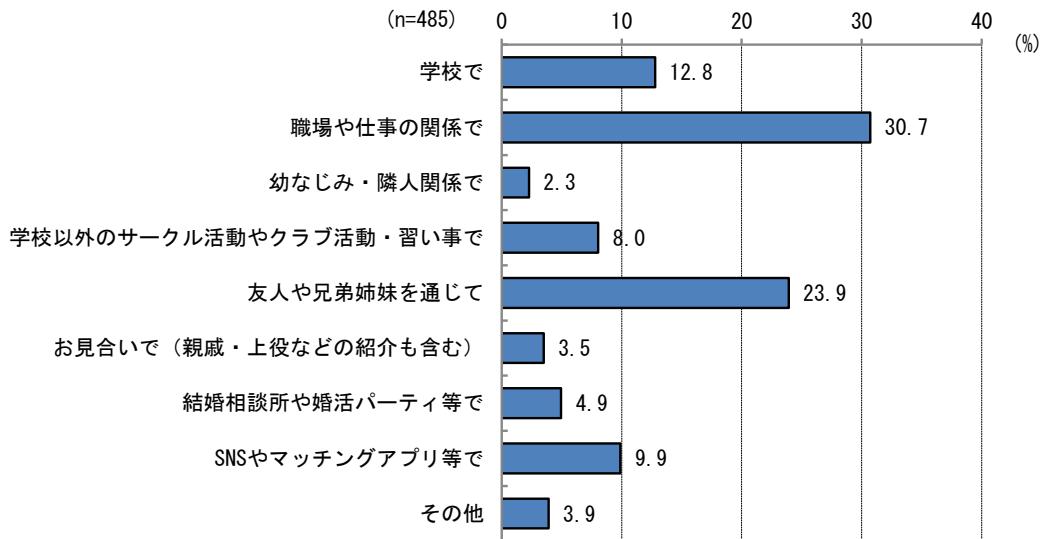
性別でみると、男女とも「結婚している」が最も多くなっています。

性年齢別でみると男女とも 20 代以下は「結婚していない」が 8 割前後となっています。(表 2-1-1)

## 2. 知り合ったきっかけ

問6(2) (問6(1)で「1. 結婚している」と答えた方)  
結婚相手とはどのように知り合いましたか。(○は1つ)

【図2-2 知り合ったきっかけ】



結婚相手と知り合ったきっかけは、「職場や仕事の関係で」が30.7%と最も多く、次いで「友人や兄弟姉妹を通じて」が23.9%、「学校で」が12.8%、「SNSやマッチングアプリ等で」が9.9%となっています。(図2-2)

【表2-2-1 性年齢別 知り合ったきっかけ】

	n	学校で	職場や仕事の関係で	幼なじみ・隣人関係で	や学校以外の活動サークル活動で	友人や兄弟姉妹を通じて	なお見合いで（親戚・上役などの紹介も含む）	結婚相談所や婚活パーティ等で	SNSやマッチングアプリ等で	その他
男性計	227	10.6	29.5	1.8	9.7	21.1	4.8	7.0	12.8	2.6
20代以下	8	37.5	12.5	0.0	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0	12.5
30代	66	9.1	19.7	3.0	6.1	21.2	9.1	9.1	22.7	0.0
40代	153	9.8	34.6	1.3	11.1	21.6	3.3	5.9	9.2	3.3
女性計	258	14.7	31.8	2.7	6.6	26.4	2.3	3.1	7.4	5.0
20代以下	22	31.8	18.2	4.5	4.5	22.7	0.0	0.0	9.1	9.1
30代	89	14.6	29.2	3.4	4.5	27.0	0.0	4.5	12.4	4.5
40代	147	12.2	35.4	2.0	8.2	26.5	4.1	2.7	4.1	4.8

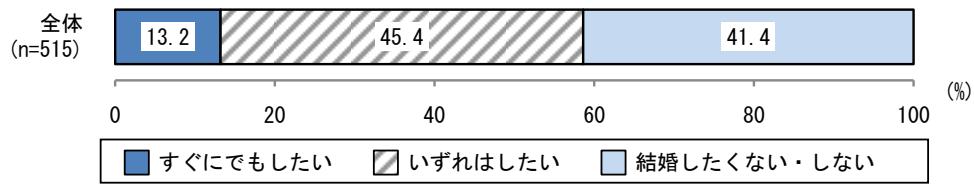
性別でみても、「職場や仕事の関係で」が最も多く、大きな差はありません。

性年齢別でみると、「SNSやマッチングアプリ等で」は男性の30代で22.7%と最も高くなっています。(表2-2-1)

### 3. 将来結婚したいか

問6(3) (問6(2)で「2. 離別・死別した」「3. 結婚していない」と答えた方)  
将来、結婚したいと思いますか。

【図2-3 将来結婚したいか】



将来結婚したいかは、「いずれはしたい」が 45.4% と最も多く、次いで「結婚したくない・しない」が 41.4%、「すぐにでもしたい」が 13.2% となっています。(図 2-3)

【表2-3-1 性年齢別 将来結婚したいか】

	n	すぐにでもしたい	いずれはしたい	な結婚したくない・し
男性計	233	14.6	42.1	43.3
20代以下	33	6.1	57.6	36.4
30代	62	14.5	41.9	43.5
40代	138	16.7	38.4	44.9
女性計	282	12.1	48.2	39.7
20代以下	76	13.2	65.8	21.1
30代	93	16.1	48.4	35.5
40代	113	8.0	36.3	55.8

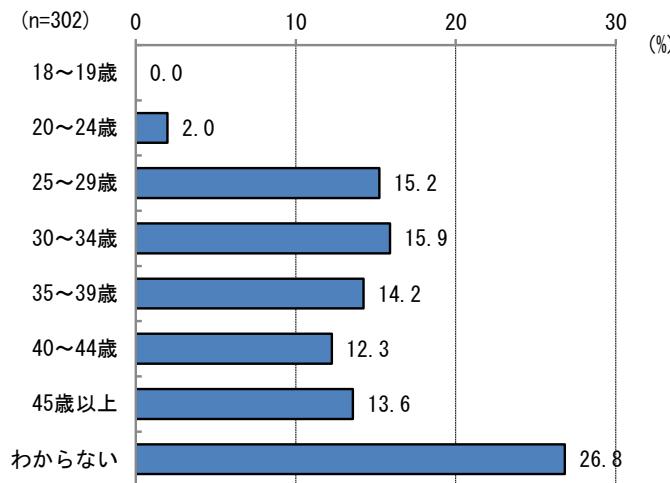
性別でみると、男性は「結婚したくない・しない」が 43.3% で最も多く、女性は「いずれはしたい」が 48.2% で最も多くなっています。

性年齢別でみると、「結婚したくない・しない」は男性の 30 代と 40 代、女性の 40 代で多くなっています。(表 2-3-1)

#### 4. 結婚したい年齢

問6(4) (問6(3)で「1. すぐにでもしたい」「2. いずれはしたい」と答えた方)  
あなたが結婚したいと思う年齢はどれですか。(○は1つ)

【図2-4 結婚したい年齢】

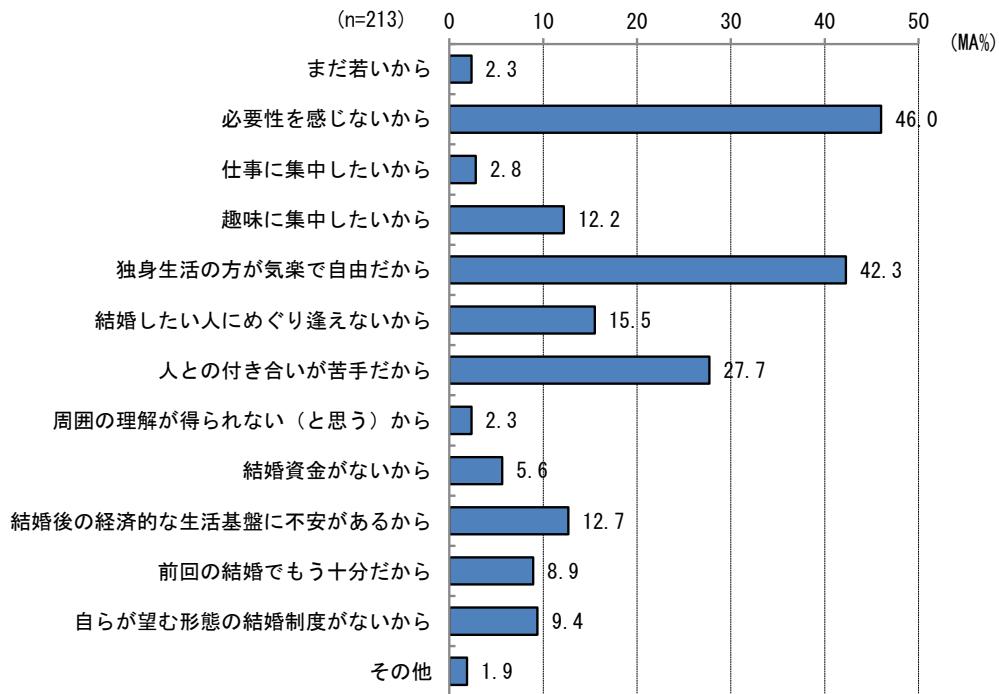


結婚したい年齢は、「30~34歳」が15.9%と最も多く、次いで「25~29歳」が15.2%、「35~39歳」が14.2%となっています。(図2-4)

## 5. 結婚したくない理由

問6(5) (問6(3)で「3. 結婚したくない・しない」と答えた方)  
結婚したくない・しない理由は何ですか。(○は3つまで)

【図2-5 結婚したくない理由】



結婚したくない理由は、「必要性を感じないから」が 46.0% と最も多く、次いで「独身生活の方が気楽で自由だから」が 42.3%、「人との付き合いが苦手だから」 27.7%、「結婚したい人にめぐり逢えないから」が 15.5% となっています。(図 2-5)

【表2-5-1 性年齢別 結婚したくない理由】

	n	まだ若いから	ら必要性を感じないか	ら仕事に集中したいか	ら趣味に集中したいか	で自身由生だかの方が気楽	り結婚したい人らにめぐ	手人だとかの付き合いが苦	な周囲への理解が得かられ	結婚資金がないから	から活基盤にの不安が的ある生	分前だから結婚でもう十	婚自ら度がが望なむい形か態の結	その他
男性計	101	2.0	45.5	3.0	11.9	40.6	11.9	28.7	3.0	9.9	16.8	4.0	6.9	0.0
20代以下	12	16.7	66.7	0.0	25.0	16.7	25.0	33.3	8.3	8.3	25.0	0.0	0.0	0.0
30代	27	0.0	48.1	7.4	14.8	44.4	7.4	37.0	3.7	3.7	11.1	0.0	7.4	0.0
40代	62	0.0	40.3	1.6	8.1	43.5	11.3	24.2	1.6	12.9	17.7	6.5	8.1	0.0
女性計	112	2.7	46.4	2.7	12.5	43.8	18.8	26.8	1.8	1.8	8.9	13.4	11.6	3.6
20代以下	16	12.5	56.3	0.0	18.8	50.0	12.5	25.0	0.0	6.3	6.3	0.0	25.0	0.0
30代	33	0.0	54.5	3.0	21.2	48.5	12.1	33.3	0.0	3.0	12.1	9.1	6.1	3.0
40代	63	1.6	39.7	3.2	6.3	39.7	23.8	23.8	3.2	0.0	7.9	19.0	11.1	4.8

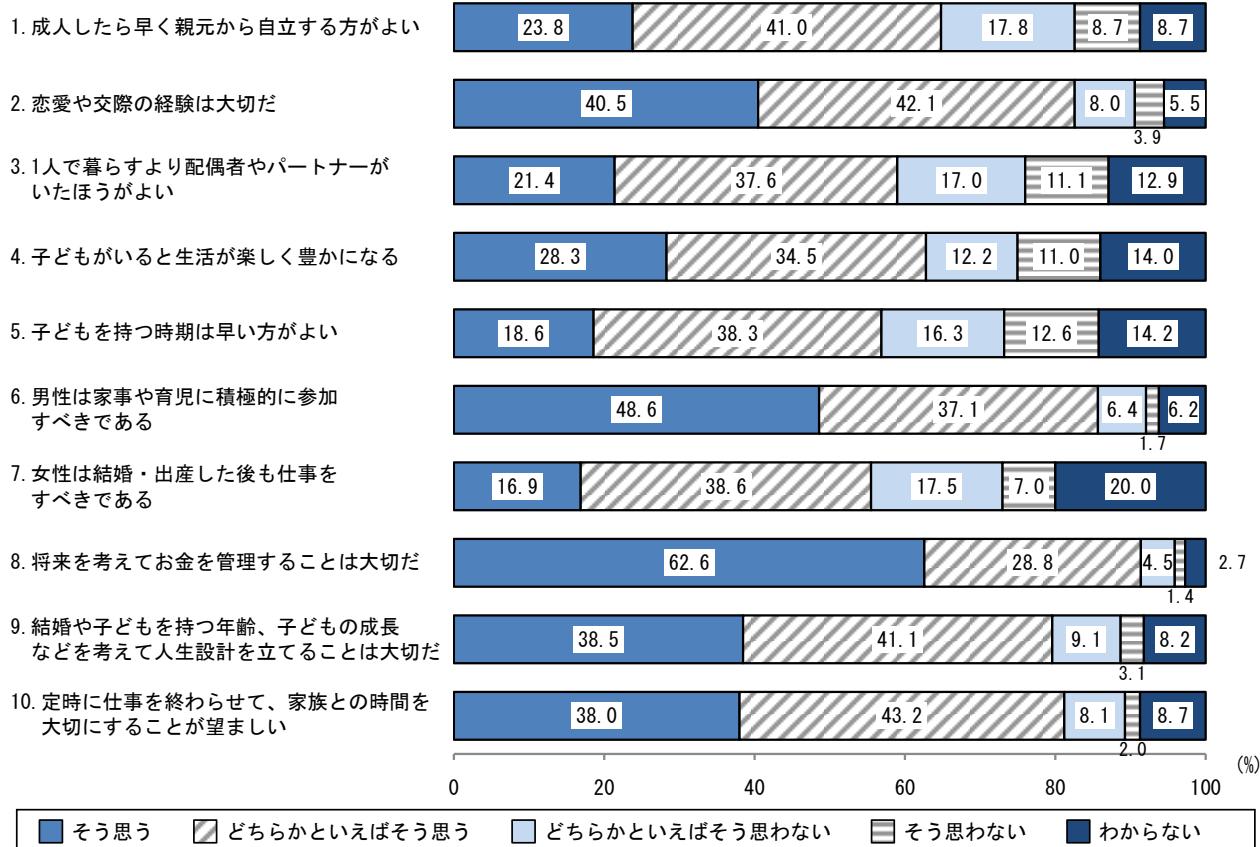
性別で見ても、男女とも「必要性を感じないから」が最も多く、大きな差はみられません。性年齢別でみると、男女とも 40 代では「独身生活の方が気楽で自由だから」が多くなっています。(表 2-5-1)

## 6. 家族や家庭に関する考え方

問7 家族や家庭に関する次のような考え方について、どう思いますか。  
(○はそれぞれ1つずつ)

【図2-6 家族や家庭に関する考え方】

(n=1,000)

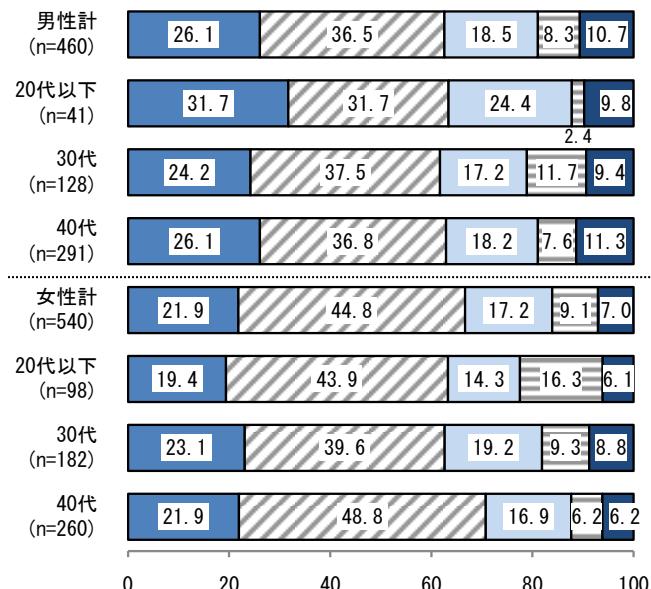


家族や家庭に関する考え方について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』割合をみると、[2. 恋愛や交際の経験は大切だ] (82.6%)、[6. 男性は家事や育児に積極的に参加すべきである] (85.7%)、[8. 将来を考えてお金を管理することは大切だ] (91.4%)、[10. 定時に仕事を終わらせて、家族との時間を大切にすることが望ましい] (81.2%) が8割以上となって います。(図2-6)

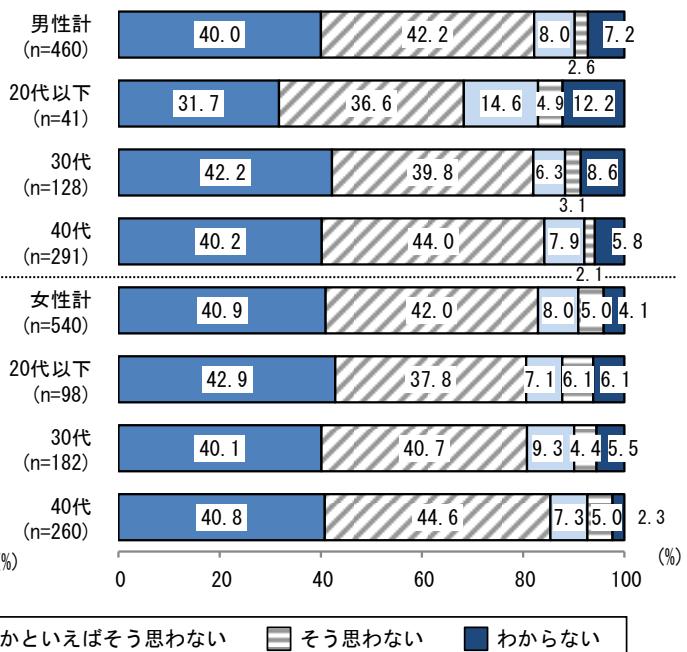
## 性年齢別

【図2-6-1 性年齢別 家族や家庭に関する考え方①】

1. 成人したら早く親元から自立する方がよい

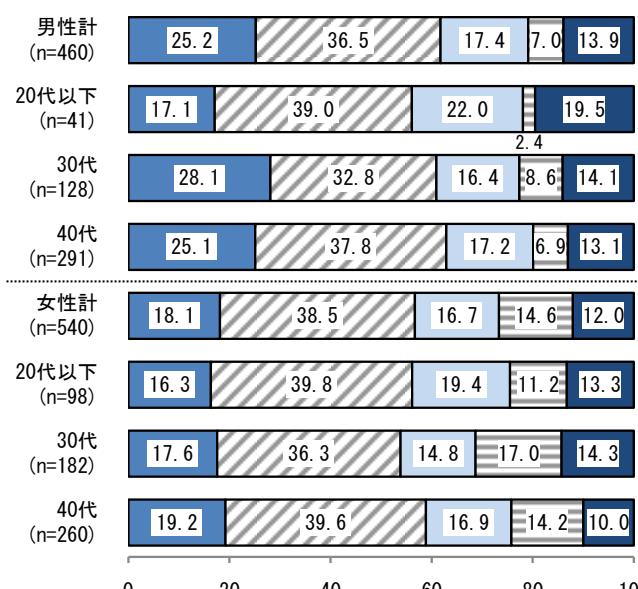


2. 恋愛や交際の経験は大切だ

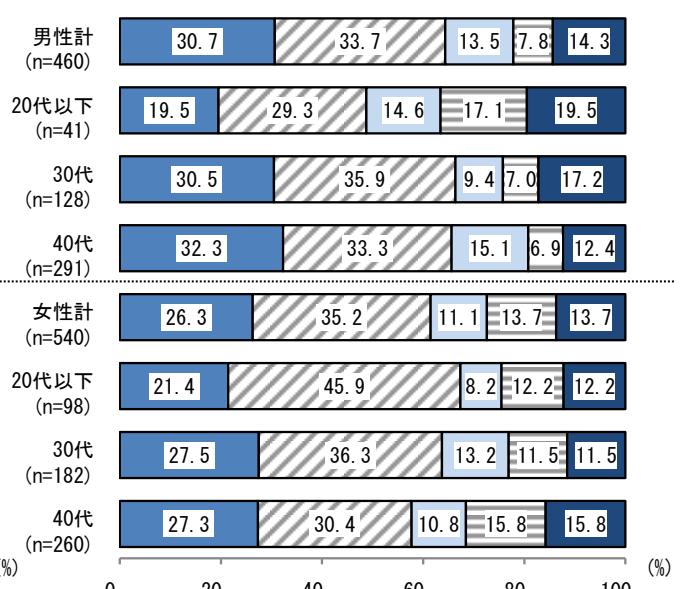


■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ わからない

3. 配偶者やパートナーがいたほうがよい



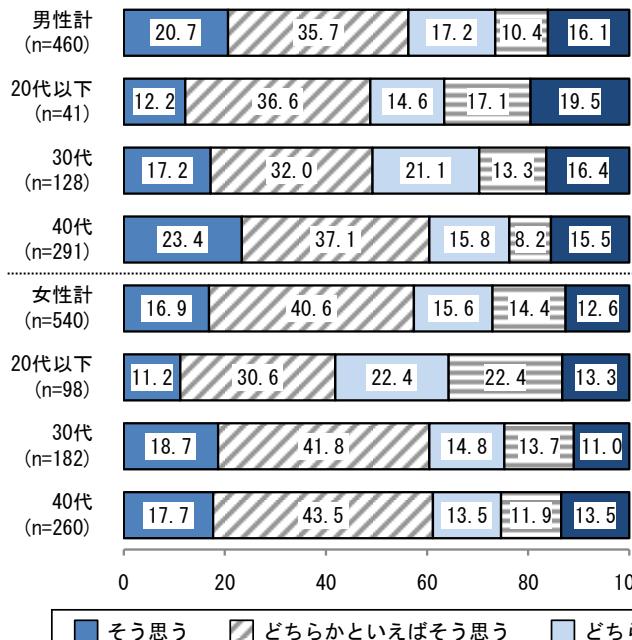
4. 子どもがいると生活が楽しく豊かになる



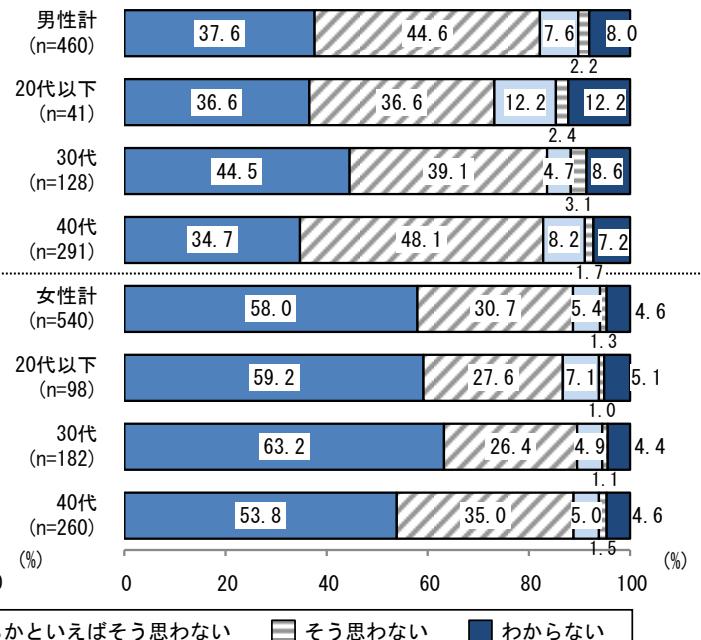
■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ わからない

【図2-6-2 性年齢別 家族や家庭に関する考え方②】

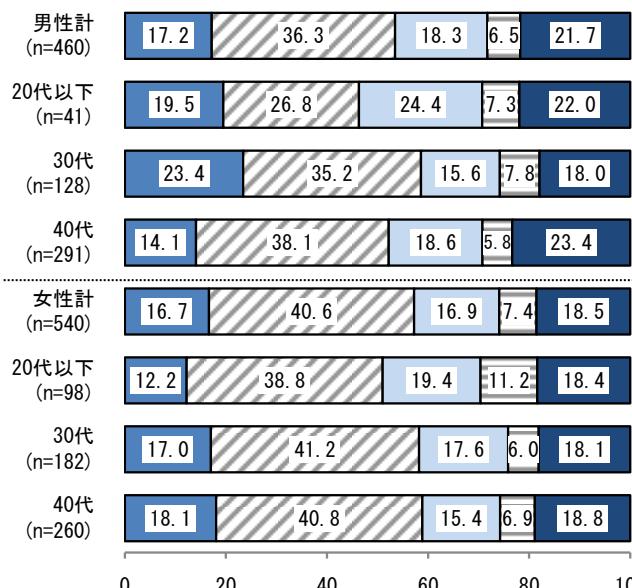
5. 子どもを持つ時期は早い方がよい



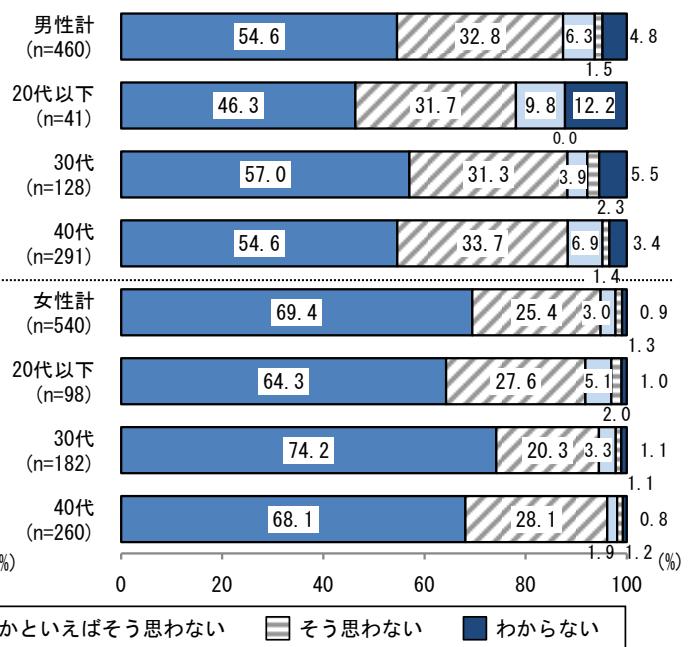
6. 男性は家事や育児に積極的に参加すべき



7. 女性は結婚・出産した後も仕事をすべき



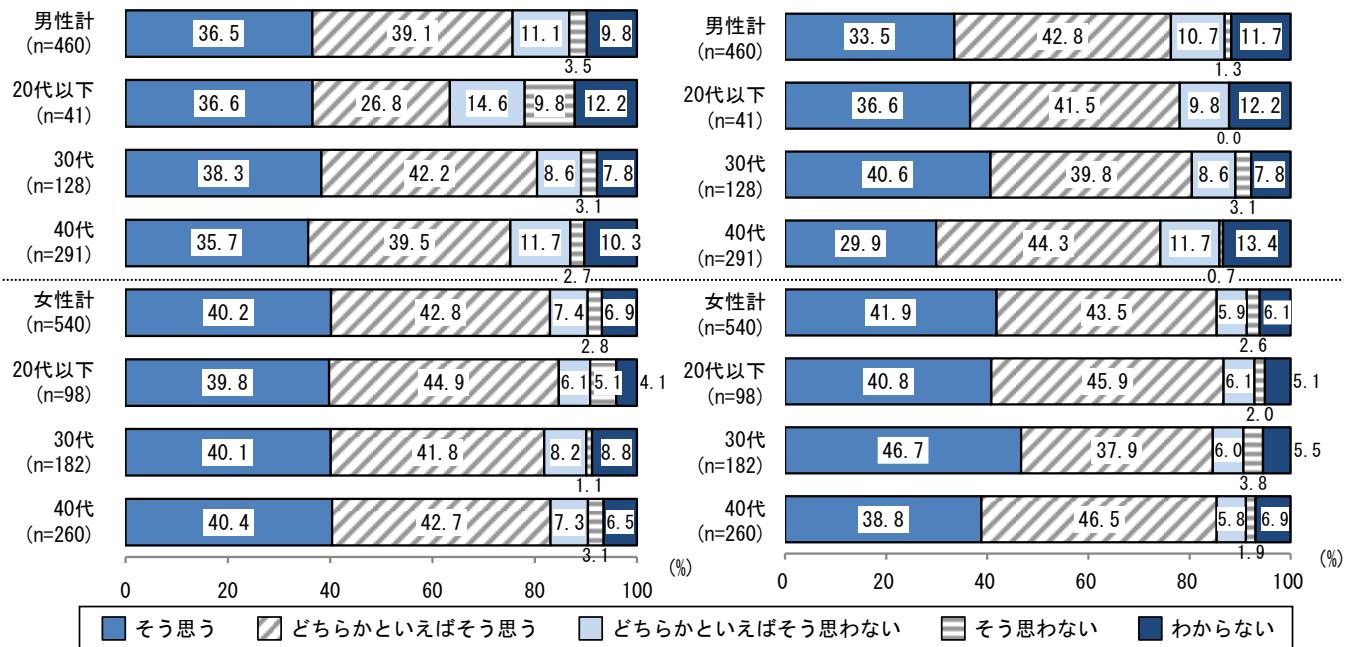
8. 将来を考えてお金を管理することは大切だ



【図2-6-3 性年齢別 家族や家庭に関する考え方③】

9.結婚や子どもを持つ年齢などを考えて人生設計を立てることは大切だ

10.定時に仕事を終わり、家族との時間を大切にすることが望ましい

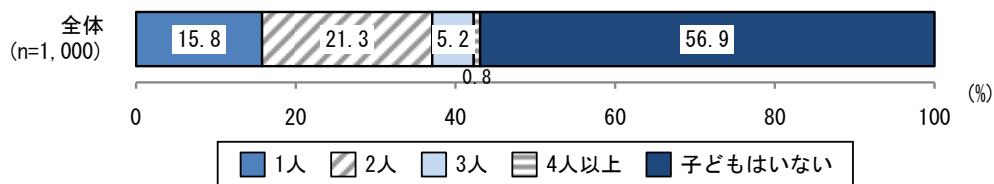


### 3 子どもの人数について

#### 1. 子どもの人数

問8 あなたは現在、妊娠中のお子さまも含めて何人のお子さまがいますか。(○は1つ)

【図3-1 子どもの人数】

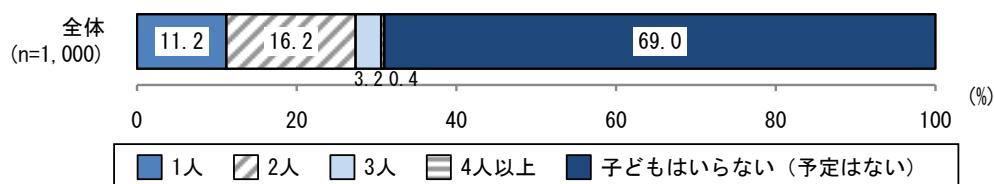


子どもの人数は、「子どもはない」が56.9%と最も多く、次いで「2人」が21.3%、「1人」が15.8%、「3人」が5.2%、「4人以上」が0.8%となっています。(図3-1)

#### 2. 希望する子どもの人数

問9 あなたは、今後、何人のお子さまをもうける予定ですか。(○は1つ)

【図3-2 希望する子どもの人数】

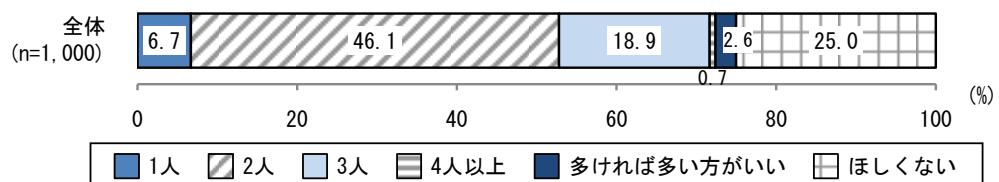


今後希望する子どもの人数は、「子どもはない (予定はない)」が69.0%と最も多く、次いで「2人」が16.2%、「1人」が11.2%、「3人」が3.2%、「4人以上」が0.4%となっています。(図3-2)

### 3. 理想の子どもの人数

問10 あなたが考える「理想」の子どもの人数は何人ですか。(○は1つ)

【図3-3 理想の子どもの人数】



理想の子どもの人数は、「2人」が 46.1% と最も多く、次いで「ほしくない」が 25.0%、「3人」が 18.9%、「1人」が 6.7%、「多ければ多い方がいい」が 2.6% となってています。(図 3-3)

### 4. 実際と理想の子どもの人数の比較

問11 あなたが実際にもうける予定の子どもの人数は理想と比べていかがですか。(○は1つ)

【図3-4 実際と理想の子どもの人数の比較】

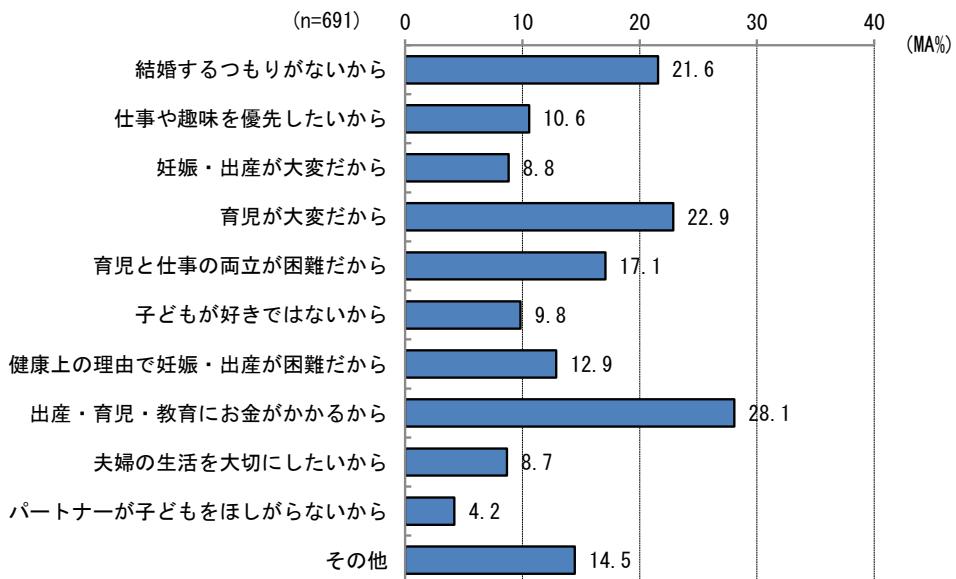


実際の子どもの人数は理想の子どもの人数と比べてどうかは、「同じ」が 57.0% と最も多く、次いで「少ない」が 38.2%、「多い」が 4.8% となってています。(図 3-4)

## 5. 子どもはほしくない理由

問12 (問9で「5. 子どもはいらない」または問10で「6. ほしくない」と答えた方)  
子どもは「いらない」または「ほしくない」理由をお答えください。(○は3つまで)

【図3-5 子どもはほしくない理由】



子どもはほしくない理由は、「出産・育児・教育にお金がかかるから」が 28.1%と最も多く、次いで「育児が大変だから」が 22.9%、「結婚するつもりがないから」が 21.6%、「育児と仕事の両立が困難だから」が 17.1%となっています。(図 3-5)

【表3-5-1 性年齢別 子どもはほしくない理由】

	n	い結婚するつもりがないから	仕事や趣味を優先したいから	妊娠・出産が大変だから	育児が大変だから	困難だと仕事の両立が	い子どもが好きではない	ら娠・健康上の問題で妊娠が困難だ	お出産が育児・教育に	し夫婦の生活を大切に	をパートナーがい子から	その他
男性計	313	26.5	9.6	4.5	16.3	13.7	6.1	6.4	25.6	11.5	5.8	14.1
20代以下	20	50.0	15.0	5.0	25.0	10.0	5.0	5.0	30.0	5.0	5.0	0.0
30代	63	33.3	9.5	3.2	14.3	14.3	9.5	1.6	25.4	15.9	7.9	11.1
40代	230	22.6	9.1	4.8	16.1	13.9	5.2	7.8	25.2	10.9	5.2	16.1
女性計	378	17.5	11.4	12.4	28.3	19.8	13.0	18.3	30.2	6.3	2.9	14.8
20代以下	38	23.7	15.8	23.7	39.5	13.2	23.7	5.3	28.9	10.5	7.9	2.6
30代	101	16.8	17.8	17.8	34.7	27.7	12.9	13.9	33.7	8.9	3.0	14.9
40代	239	16.7	7.9	8.4	23.8	17.6	11.3	22.2	28.9	4.6	2.1	16.7

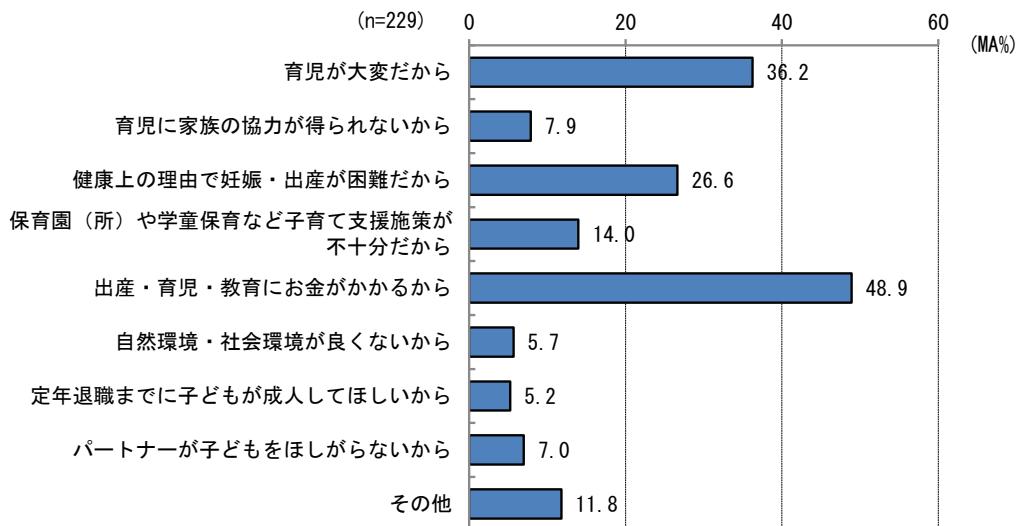
性別でみると、男性は「結婚するつもりがないから」が 26.5%で最も多く、女性は「出産・育児・教育にお金がかかるから」が 30.2%で最も多くなっています。

性年齢別でみると、女性の 20 代以下と 30 代では「育児が大変だから」が最も多くなっています。(表 3-5-1)

## 6. 実際の子どもの人数が理想より少なくなりそうな理由

問13 子どもの人数が実際には理想より少なくなりそうな理由は何ですか。(○は3つまで)

【図3-6 実際の子どもの人数が理想より少なくなりそうな理由】



実際の子どもの人数が理想より少なくなりそうな理由は、「出産・育児・教育にお金がかかるから」が 48.9% と最も多く、次いで「育児が大変だから」が 36.2%、「健康上の理由で妊娠・出産が困難だから」が 26.6%、「保育園（所）や学童保育など子育て支援施策が不十分だから」が 14.0% となっています。(図 3-6)

【表3-6-1 性年齢別 実際の子どもの人数が理想より少なくなりそうな理由】

	n	育児が大変だから	育児に家族の協力が得られないから	健康上の理由で妊娠・出産が困難だから	保育園（所）や学童保育など子育て支援施策が不十分だから	出産・育児・教育にお金がかかるから	自然環境・社会環境が良くないから	定年退職までに子どもが成人してほしいから	パートナーが子どもをほしがらないから	その他	(%)
男性計	98	36.7	3.1	26.5	13.3	48.0	6.1	6.1	10.2	7.1	
20代以下	4	25.0	0.0	25.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	28	46.4	3.6	21.4	17.9	60.7	7.1	3.6	14.3	3.6	
40代	66	33.3	3.0	28.8	10.6	40.9	6.1	7.6	9.1	9.1	
女性計	131	35.9	11.5	26.7	14.5	49.6	5.3	4.6	4.6	15.3	
20代以下	11	36.4	0.0	27.3	9.1	81.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	51	35.3	7.8	17.6	13.7	54.9	7.8	3.9	7.8	15.7	
40代	69	36.2	15.9	33.3	15.9	40.6	4.3	5.8	2.9	17.4	

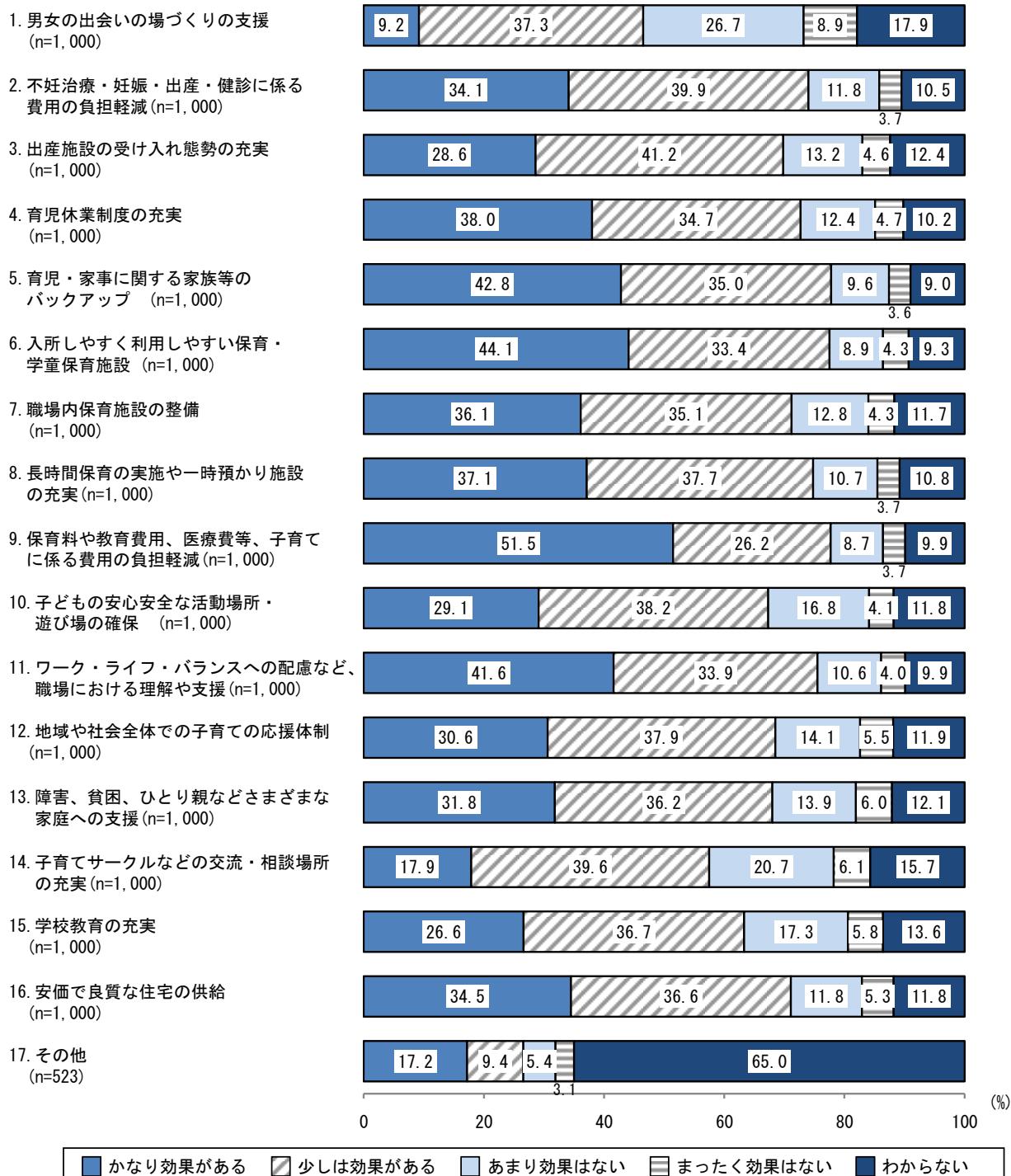
性別でみても、男女で傾向に大きな違いはみられません。

性年齢別でみても、傾向に大きな違いはみられません。(表 3-6-1)

## 7. 理想の子どもの人数をもうけるための効果的な取組・施策

問14 理想の子どもの人数をもうけるために、以下のそれぞれの取組・施策は、効果があると思いますか。（○はそれぞれ1つずつ）

【3-7 理想の子どもの人数をもうけるための効果的な取組・施策】

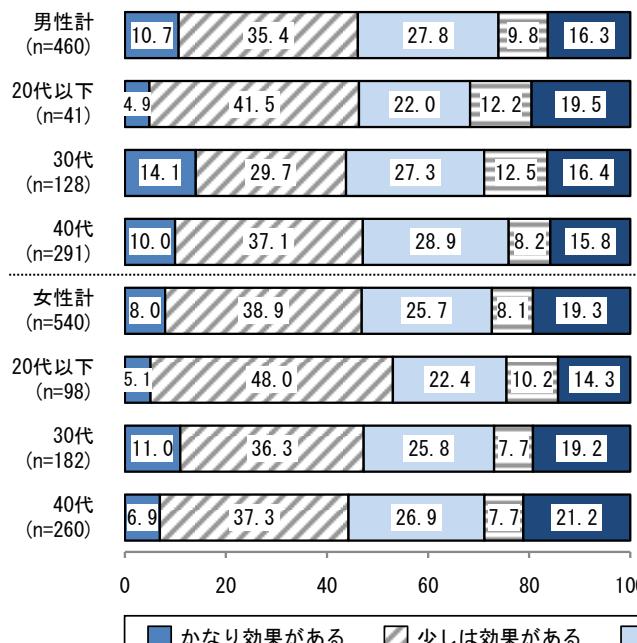


理想の子どもの人数をもうけるための効果があると思う取組・施策について、「かなり効果がある」は、[9. 保育料や教育費用、医療費等、子育てに係る費用の負担軽減] で 51.5% と最も割合が高く、次いで [6. 入所しやすく利用しやすい保育・学童保育施設] が 44.1%、[5. 育児・家事に関する家族等のバックアップ] が 42.8% となっています。（図 3-7）

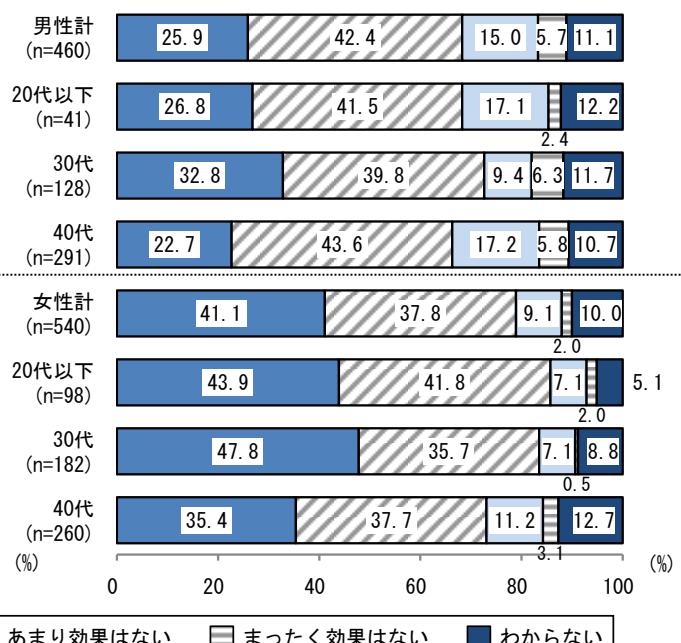
## 性年齢別

### 【3-7-1 性年齢別 理想の子どもの人数をもうけるための効果的な取組・施策①】

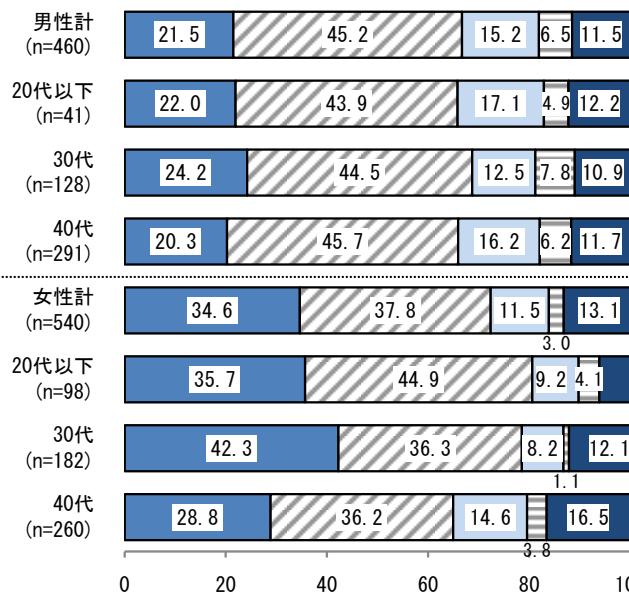
#### 1.男女の出会いの場づくりの支援



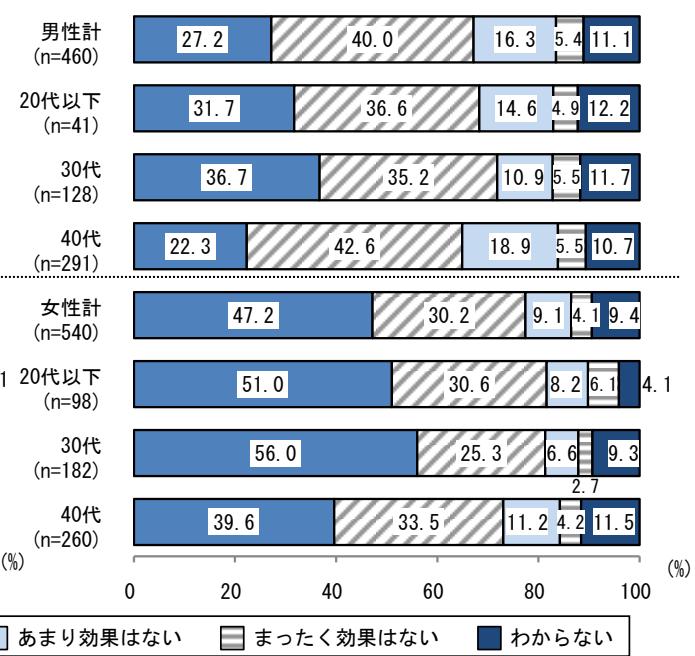
#### 2.不妊治療・妊娠・出産等の費用の負担軽減



#### 3.出産施設の受け入れ態勢の充実

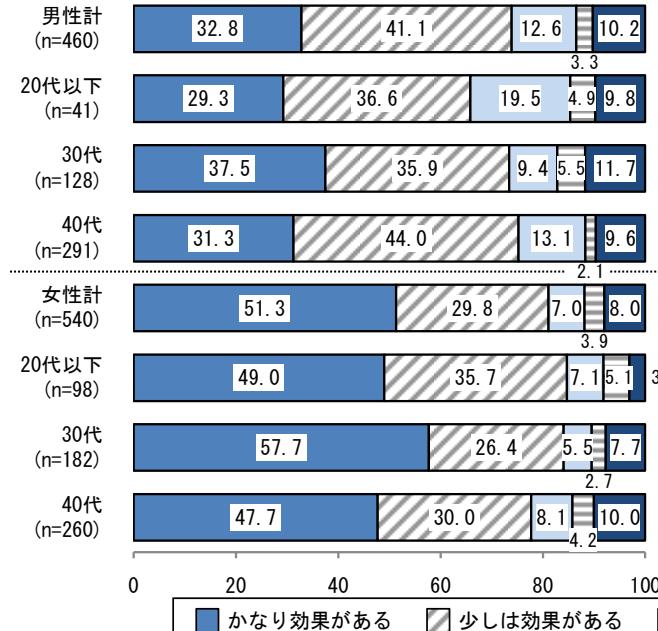


#### 4.育児休業制度の充実

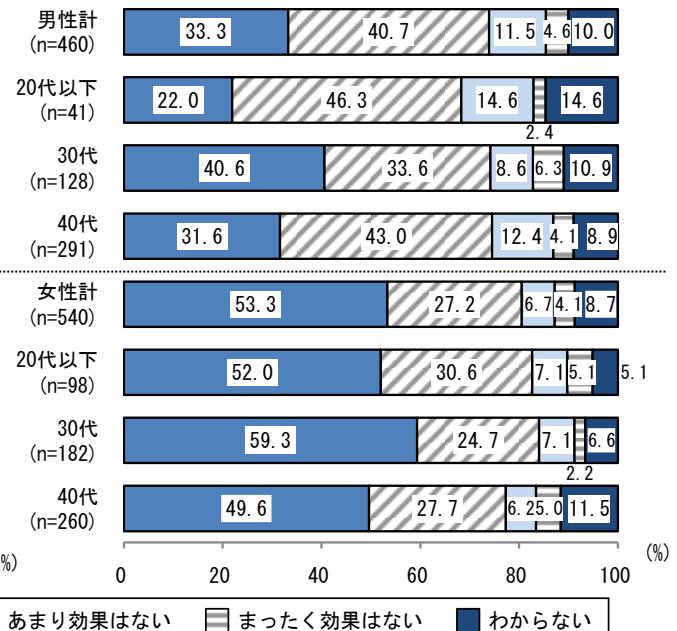


### 【3-7-2 性年齢別 理想の子どもの人数をもうけるための効果的な取組・施策②】

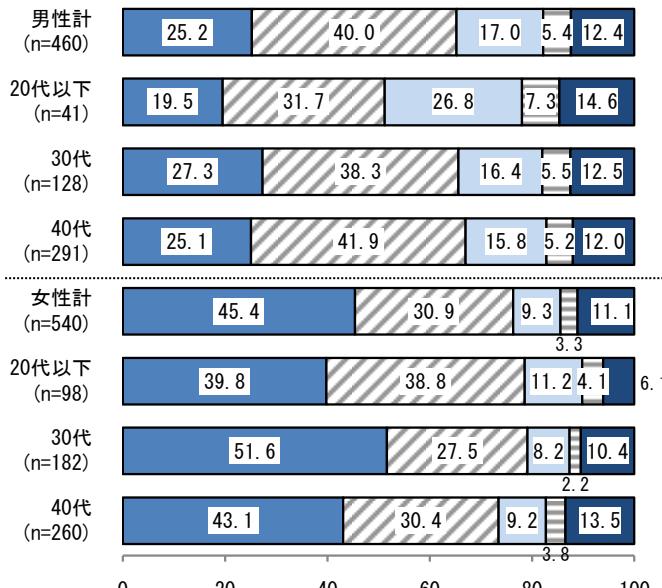
#### 5. 育児・家事に関する家族等のバックアップ



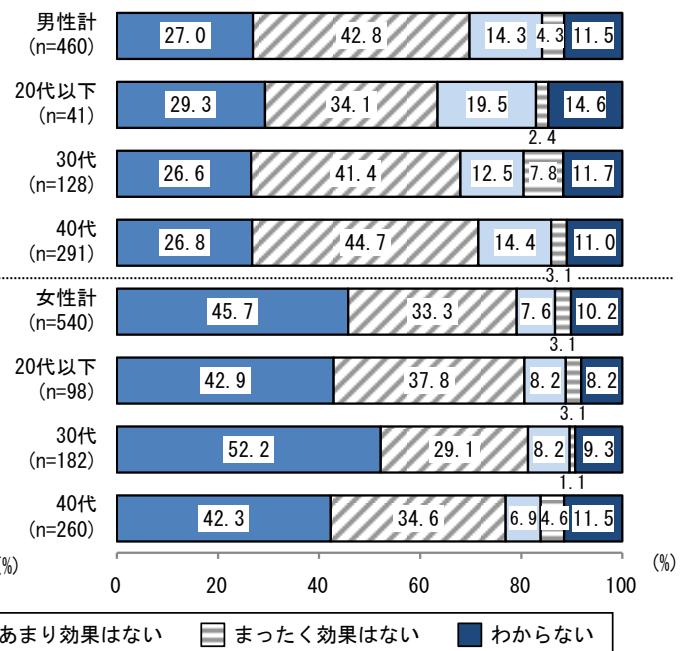
#### 6. 入所や利用がしやすい保育・学童保育施設



#### 7. 職場内保育施設の整備

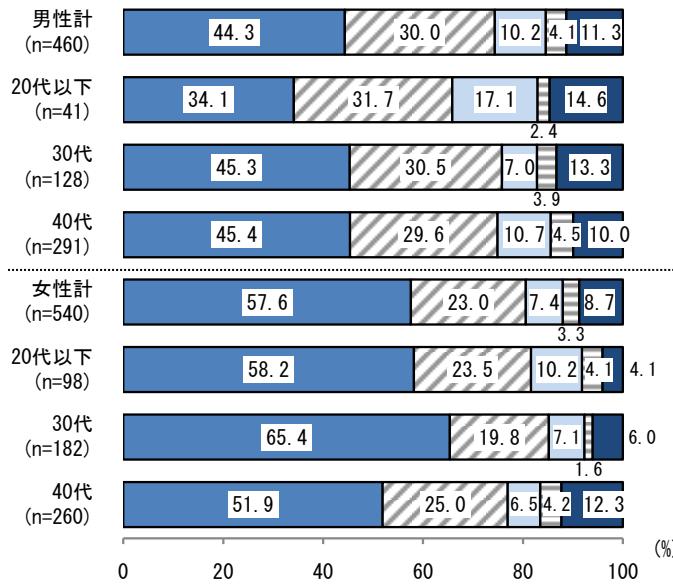


#### 8. 長時間保育や一時預かり施設の充実

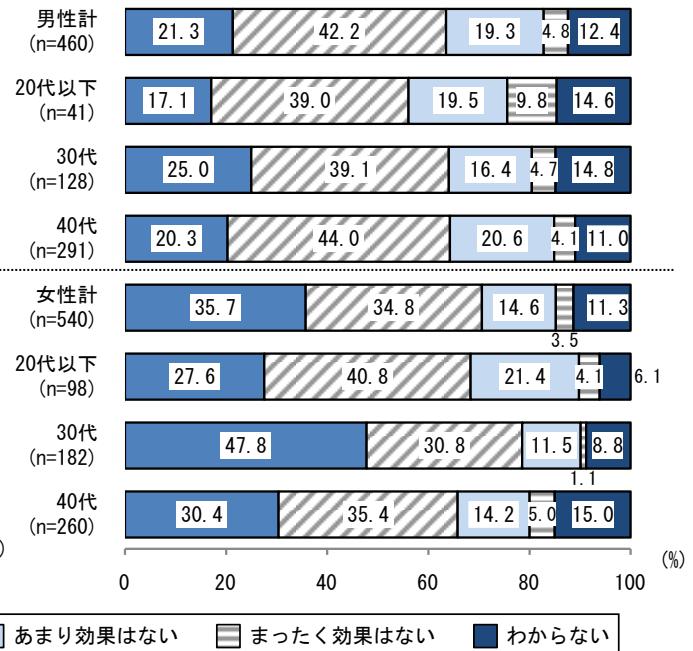


### 【3-7-3 性年齢別 理想の子どもの人数をもうけるための効果的な取組・施策③】

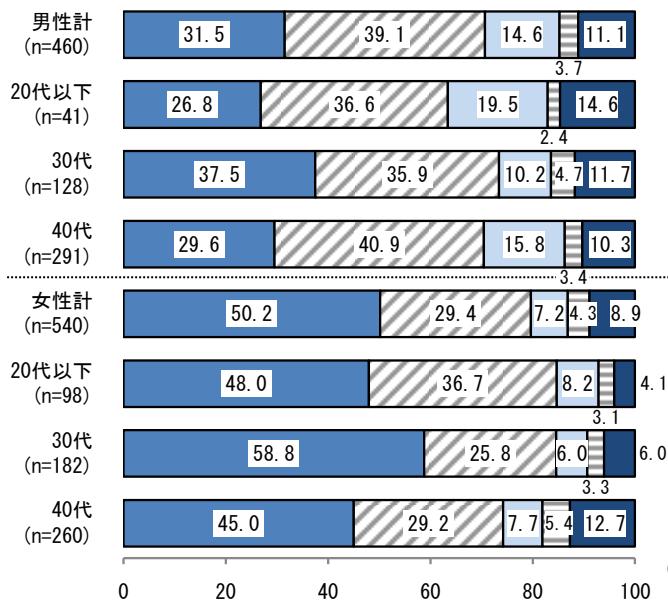
#### 9.保育料や医療費等、子育て費用の負担軽減



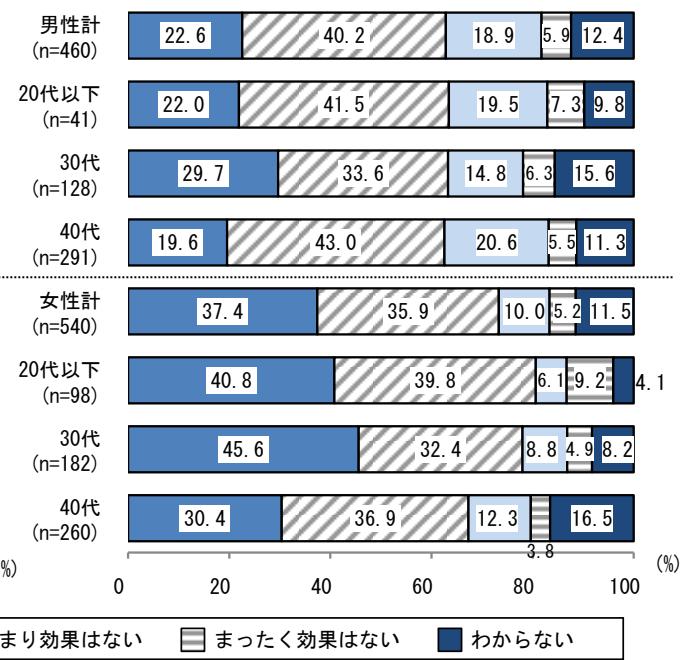
#### 10.子どもの安心安全な遊び場の確保



#### 11.職場における理解や支援

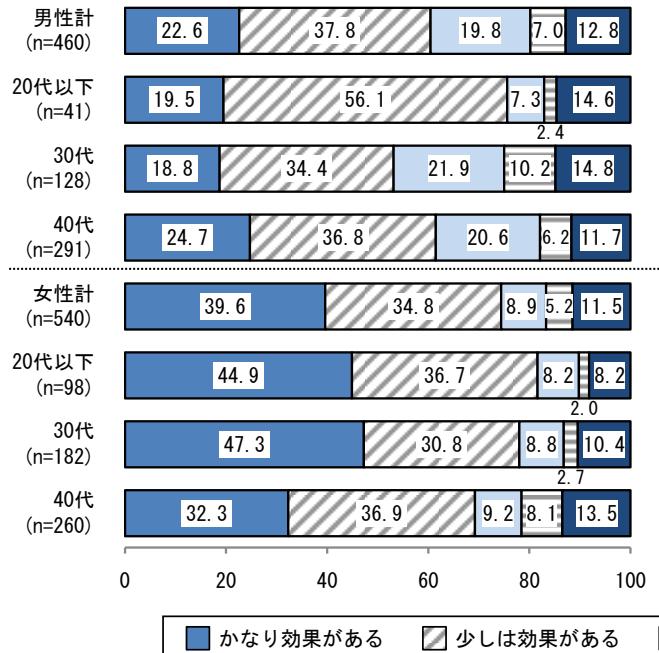


#### 12.地域や社会全体での子育ての応援体制

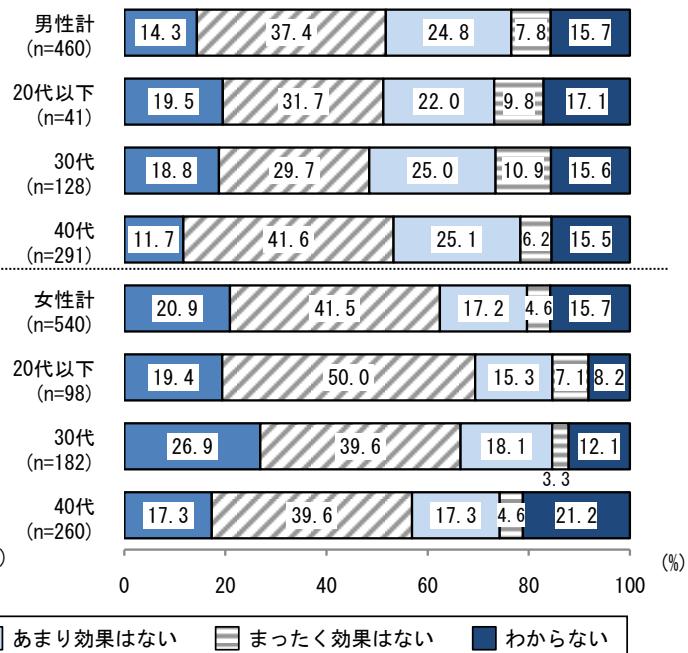


【3-7-4 性年齢別 理想の子どもの人数をもうけるための効果的な取組・施策④】

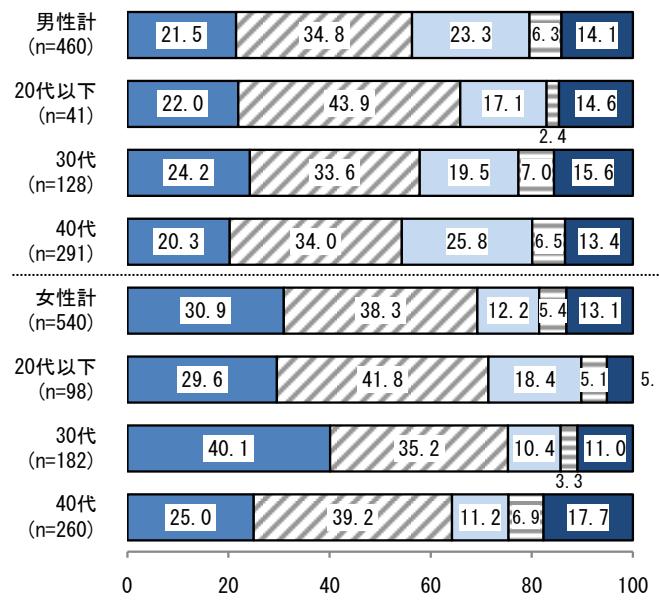
13.障害、貧困、ひとり親などさまざまな家庭への支援



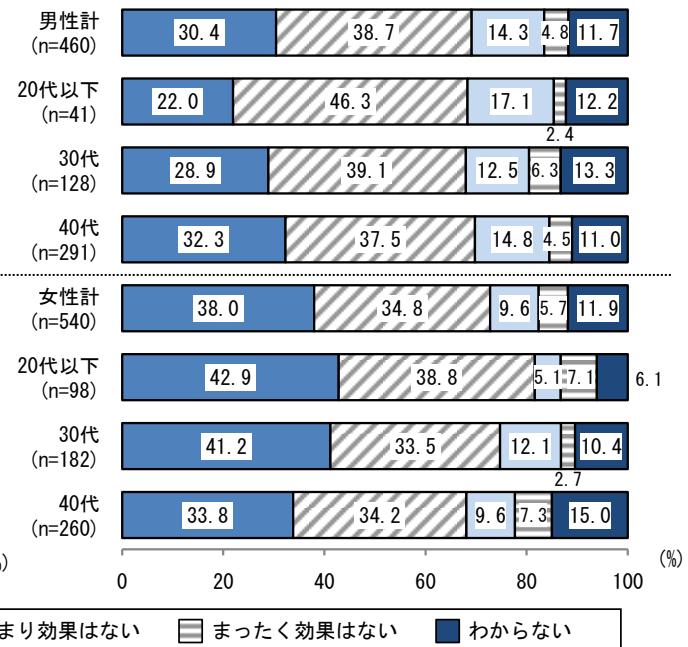
14.子育てサークルなどの交流・相談場所の充実



15.学校教育の充実



16.安価で良質な住宅の供給

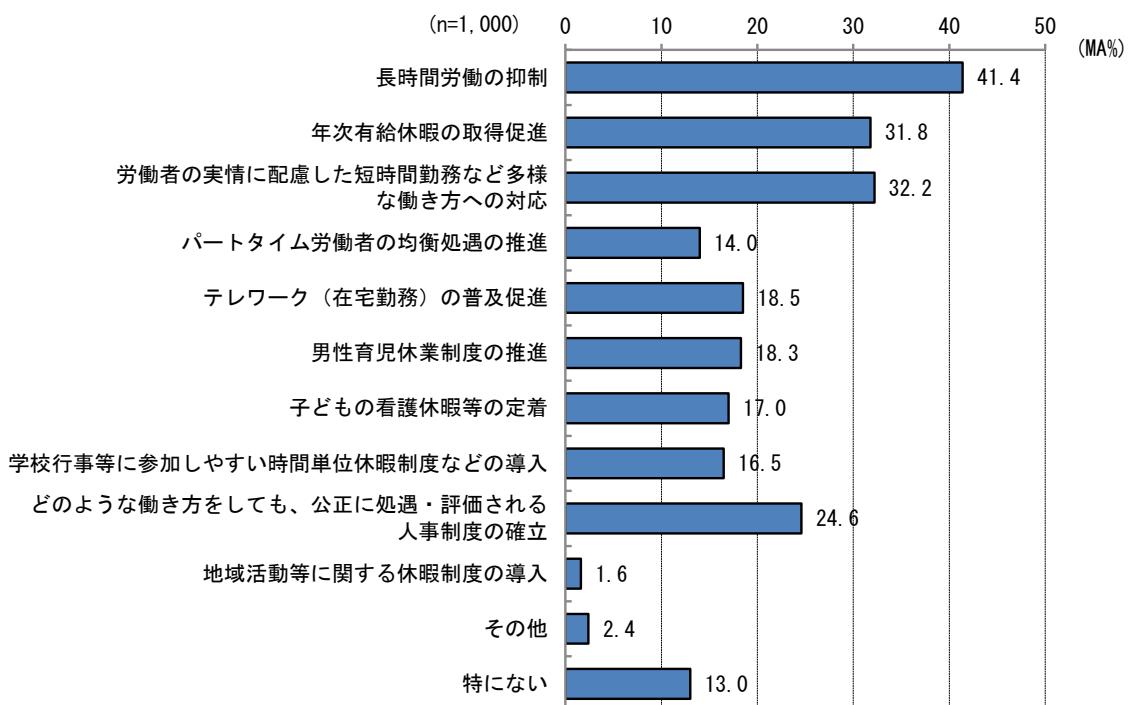


## 4 真のワーク・ライフ・バランスについて

### 1. 「真のワーク・ライフ・バランス」実現のための取り組み

問15(1) 「真のワーク・ライフ・バランス」の実現のために、企業等にどのようなことに取り組んでほしいと思いますか。(○は3つまで)

【図4-1 「真のワーク・ライフ・バランス」実現のための取り組み】



「真のワーク・ライフ・バランス」の実現のために希望する企業等の取組は、「長時間労働の抑制」が 41.4% と最も多く、次いで「労働者の実情に配慮した短時間勤務など多様な働き方への対応」が 32.2%、「年次有給休暇の取得促進」が 31.8% となっています。(図 4-1)

【表4-1-1 性年齢別「真のワーク・ライフ・バランス」実現のための取り組み】

	n	長時間労働の抑制	年次有給休暇の取得促進	労働者の実情に配慮した短時間勤務など多様な働き方への対応	推進	パートタイム労働者の均衡待遇の実現	進テレワーク（在宅勤務）の普及促進	男性育児休業制度の推進	子どもの看護休暇等の定着	学校行事制度などに参加しやすい時間単位の導入	立どりに處遇・評価される人事制度の公正化	入地域活動等に関する休暇制度の導入	その他	(%)	特にない
男性計	460	48.9	32.8	27.4	11.7	17.2	18.7	9.6	12.8	19.1	2.0	3.0	14.6		
20代以下	41	58.5	24.4	17.1	14.6	24.4	24.4	7.3	14.6	4.9	0.0	0.0	14.6		
30代	128	48.4	32.0	27.3	7.8	14.8	23.4	11.7	14.1	18.8	2.3	3.1	16.4		
40代	291	47.8	34.4	28.9	13.1	17.2	15.8	8.9	12.0	21.3	2.1	3.4	13.7		
女性計	540	35.0	30.9	36.3	15.9	19.6	18.0	23.3	19.6	29.3	1.3	1.9	11.7		
20代以下	98	43.9	35.7	38.8	12.2	19.4	28.6	20.4	14.3	23.5	1.0	1.0	12.2		
30代	182	30.8	27.5	39.6	13.7	22.5	21.4	24.7	20.9	26.4	1.1	2.2	9.9		
40代	260	34.6	31.5	33.1	18.8	17.7	11.5	23.5	20.8	33.5	1.5	1.9	12.7		

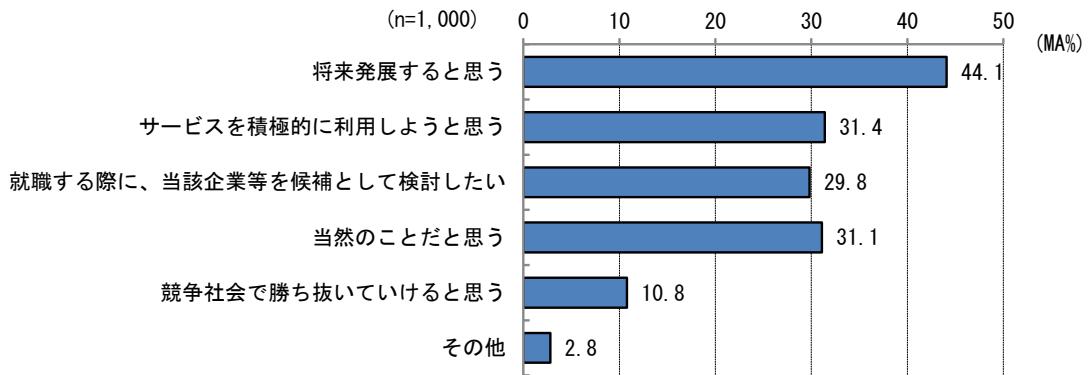
性別でみると、男性は「長時間労働の抑制」が 48.9%で最も多く、女性は「労働者の実情に配慮した短時間勤務など多様な働き方への対応」が 36.3%で最も多くなっています。

性年齢別でみると、「長時間労働の抑制」は男性 20 代以下で 58.5%と最も高い割合となっています。「労働者の実情に配慮した短時間勤務など多様な働き方への対応」は女性 30 代で 39.6%と最も高い割合となっています。（表 4-1-1）

## 2.「真のワーク・ライフ・バランス」に理解がある企業等への考え方

問15(2) 「真のワーク・ライフ・バランス」を積極的に推進したり、理解がある企業等についてどのように思いますか。(複数回答可)

【図4-2 「真のワーク・ライフ・バランス」に理解がある企業等への考え方】



「真のワーク・ライフ・バランス」を積極的に推進する企業等への考えは、「将来発展すると思う」が44.1%と最も多く、次いで「サービスを積極的に利用しようと思う」が31.4%、「当然のことだと思う」が31.1%、「就職する際に、当該企業等を候補として検討したい」が29.8%となっています。(図4-2)

【表4-2-1 性年齢別「真のワーク・ライフ・バランス」に理解がある企業等への考え方】

	n	将来発展すると思う	サービスを積極的に利用しようと思う	就職する際に、当該企業等を候補として検討したい	当然のことだと思う	競争社会で勝ち抜いていけると思う	その他
男性計	460	42.2	27.8	25.2	35.9	8.7	3.9
20代以下	41	41.5	36.6	34.1	26.8	12.2	2.4
30代	128	44.5	23.4	25.8	39.1	9.4	2.3
40代	291	41.2	28.5	23.7	35.7	7.9	4.8
女性計	540	45.7	34.4	33.7	27.0	12.6	1.9
20代以下	98	43.9	34.7	38.8	21.4	6.1	0.0
30代	182	42.9	41.2	33.5	28.0	12.6	1.6
40代	260	48.5	29.6	31.9	28.5	15.0	2.7

性別でみると、男女とも「将来発展すると思う」が最も多く、次いで男性は「当然のことだと思う」が、女性は「サービスを積極的に利用しようと思う」が多くなっています。

性年齢別でみると、女性の20代以下と女性の40代では「就職する際に、当該企業等を候補として検討したい」の割合多くなっています。(表4-2-1)

## 5 自由記述

本アンケートや行政に期待する支援施策に関するご意見等で、ご意見がございましたらご記入ください。

カテゴリー	主な御意見
子育て	<ul style="list-style-type: none"><li>・子育てにお金がかかるないよう支援してほしい。</li><li>・お金を配るだけでなく、土壌を整えるような政策をしてほしい。</li><li>・子育て世代の所得税を減税してほしい。</li><li>・生活保護受給者や低所得世帯ではなく、課税世帯の支援をしてほしい。</li><li>・高齢者中心の政策から転換して、子育て・若者第一優先の政策をしてほしい。</li><li>・性教育を正しく行ってほしい。</li></ul> など
経済	<ul style="list-style-type: none"><li>・物価高のなか、給料を上げて生活が楽にならないと、結婚や出産を考えられない。</li><li>・独身者が冷遇されていると感じる。</li><li>・ワークライフバランスを実施している企業を評価し、取組を共有し、均てん化を目指してほしい。</li><li>・中小企業まで支援を行ってほしい。</li></ul> など
医療	<ul style="list-style-type: none"><li>・子どもの医療費が他市と比較して高い。</li></ul> など

### III. 参考資料(調査票)

<b>あなたご自身について</b>		
問1 あなたの性別と年齢をお答えください(年齢は令和5年10月1日現在)。(○は1つ)		
1. 男性	2. 女性	
3. その他	( )歳	
問2 お住まいの区と小学校区をご回答ください。		
お住まいの区( )区	お住まいの小学校区( )学区	
※小学校区がわからない場合は、空白で結構です。		
問3 あなたはだれと一緒に暮らしていますか。(複数回答可)		
1. 一人暮らし	2. 父親	3. 母親
4. 兄弟姉妹	5. 夫・妻	6. 実子・養子
7. 祖父	8. 祖母	9. 爪せき
10. 友人	11. 恋人	12. その他(具体的に: )
問4 あなたの就労形態をお答えください。(○は1つ)		
1. 正社員・正職員	2. 契約・パート・アルバイト	3. 派遣社員
4. 自営業主	5. 家族従業者	6. 内職・在宅就業
7. 無職・家事専業	8. 専門学生・大学生等	9. その他( )
問5 あなたの世帯の昨年1年間(令和4年1月1日～同年12月31日)の可処分所得(実収入から税金や社会保険料等を引いたわかる手取り収入)はおおよそどのくらいですか。(○は1つ)		
1. 0～100万円	2. 101万～200万円	3. 201万～300万円
4. 301万～400万円	5. 401万～500万円	6. 501万～600万円
7. 601万～800万円	8. 801万～1,000万円	9. 1,001万円以上
10. わからない		
<b>回答にあたってのお願い</b>		
1. このアンケートは、封筒の宛名の方ご本人がご記入ください。また、ご本人が記入できない場合は、ご家族の方が本人のお考えを聞きながらご記入ください。		
2. 設問により、回答数が異なります。		
3. 設問により、回答した大きく方が限られています。		
4. 「その他」をお選びいただいた場合は、( )内に具体的な内容をご回答ください。		
5. アンケートの締切日は、「令和5年10月30日」となっております。		
6. アンケート結果は、令和6年4月以降に、市ホームページにおいて公表する予定です。		
<b>結婚について</b>		
問6(1) あなたは結婚(法的な婚姻関係にない場合も含みます)していますか。(○は1つ)		
1. 結婚している	→問6(2)へ	
2. 結婚していないことはあるが、離(死)別した	→問6(3)へ	
3. 結婚していない		
問6(1)で「1」と答えた方にうかがいます。»		
問6(2) 結婚相手とはどのように知り合いましたか。(○は1つ)		
1. 学校で	2. 職場や仕事の関係で	
3. 幼なじみ・隣人関係で	4. 学校以外のサークル活動やクラブ活動・習い事で	
5. 友人や兄弟姉妹を通じて	6. お見合いで(親戚・上級などの紹介も含む)	
7. 結婚相談所や婚活パーティー等で	8. SNSやマッチングアプリ等で	
9. その他( )		

『問6(1)で「2」または「3」と答えた方にうかがいます。』

問6(3) 将来、結婚したいと思いませんか。(○は1つ)

1. すぐにでもしたい →問6(4)へ  
3. 結婚したくない・しない →問6(5)へ

『問6(3)で「1」または「2」と答えた方にうかがいます。』

問6(4) あなたが結婚したいと思う年齢はどれですか。(○は1つ)

1. 18~19歳 2. 20~24歳 3. 25~29歳 4. 30~34歳  
5. 35~39歳 6. 40~44歳 7. 45歳以上 8. わからない

『問6(3)で「3」と答えた方にうかがいます。』

問6(5) 結婚したくない・しない理由は何ですか。(○は3つまで)

1. まだ若から 2. 必要性を感じないから  
3. 仕事に集中したいから 4. 趣味に集中したいから  
5. 独身生活の方が気楽で自由だから 6. 結婚したい人にめぐり逢えないから  
7. 人との付き合いが苦手だから 8. 周囲の理解が得られない（と思う）から  
9. 結婚資金がないから 10. 結婚後の経済的な生活基盤に不安があるから  
11. 前回の結婚でもう十分だから 12. 自らが望む形態の結婚制度がないから  
13. その他（ ）

問7 家族や家庭に関する次のような考え方について、どう思いますか。(○はそれそれ1つずつ)

※賛成・反対の立場が取りやすいように、断定的な表現を用いています。  
また、必ずしも一般的でない考え方も含まれています。

（1）成人したら早く親元から自立する方がよい	1	2	3	4	5
（2）恋愛や交際の経験は大切だ	1	2	3	4	5
（3）1人で暮らすより配偶者やパートナーがいたほうがいい	1	2	3	4	5
（4）子どもがいると生活が楽しく豊かになる	1	2	3	4	5
（5）子どもを持つ時期は早い方がよい	1	2	3	4	5
（6）男性は家事や育児に積極的に参加すべきである	1	2	3	4	5
（7）女性は結婚・出産した後も仕事をすべきである	1	2	3	4	5
（8）将来を考えてお金を管理することは大切だ	1	2	3	4	5
（9）結婚や子どもを持つ年齢、子どもの成長などを考えて人生設計を立てることは大切だ	1	2	3	4	5
（10）定時に仕事を終らせて、家族との時間を大切にすることが望ましい、	1	2	3	4	5

問8 あなたは現在、妊娠中のお子さまも含めて何人のお子さまがいますか。4人以上の場合は（ ）内に具体的な人数をご記入ください。(○は1つ)

1. 1人 2. 2人  
4. 4人以上（ ）人 5. 子どもはない、

問9 あなたは、今後、何人のお子さまをもうける予定ですか。4人以上の場合は（ ）内に具体的な人数をご記入ください。(○は1つ)

1. 1人 2. 2人  
4. 4人以上（ ）人 5. 子どもはない（予定はない）

問10 あなたが考える「理想」の子どもの人数は何人ですか。4人以上の場合は（ ）内に具体的な人数をご記入ください。(○は1つ)

1. 1人 2. 2人  
4. 4人以上（ ）人 5. 多ければ多い方がいい  
6. ほしくない、

問11 あなたが実際にもうける予定の子どもの人数は理想と比べていかがですか。(○は1つ)

1. 多い 2. 同じ  
3. 少ない、

問9で「5. 子どもはない（予定はない）」または問10で「6. ほしくない」と答えた方にうかがいます。』

問12 子どもは「いらっしゃる」または「ほしくない」理由をお答えください。(○は3つまで)

1. 結婚するつもりがないから

2. 仕事や趣味を優先したいから

3. 妊娠・出産が大変だから

4. 育児が大変だから

5. 育児と仕事の両立が困難だから

6. 子どもが好きではないから

7. 健康上の理由で妊娠・出産が困難だから

8. 出産・育児・教育にお金がかかるから

9. 育児の生活を大切にしたいから

10. パートナーが子どもをほしがらないから

11. その他（ ）

2

問13 子どもの人数が実際には理想より少なくなりそうな理由は何かあります。』

問14 あなたが大変だから、3. 育児に家族の協力が得られないから、4. 仕事や育児（所）や学童保育など子育て支援施策が不十分だから、5. 出産・育児・教育にお金がかかるから、6. 自然環境・社会環境が良くないから、7. 定年退職までに子どもが成人してほしいから、9. その他（ ）

問14 理想の子どもの人數をもうけるために、以下のそれぞれの取組・施策は、効果があると思いますか。（○はそれ1つずつ）

① 男女の出会いの場づくりの支援	かなり効果がある	少しはある	あまり効果はない	まったく効果はない	わからぬ
② 不妊治療・妊娠・出産・健診に係る費用の負担軽減	1	2	3	4	5
③ 出産施設の受け入れ態勢の充実	1	2	3	4	5
④ 育児休業制度の充実	1	2	3	4	5
⑤ 育児・家事に関する家庭等のバックアップ	1	2	3	4	5
⑥ 入所しやすく利用しやすい保育・学童保育施設	1	2	3	4	5
⑦ 職場内保育施設の整備	1	2	3	4	5
⑧ 長時間保育の実施や一時預かり施設の充実	1	2	3	4	5
⑨ 保育料や教育費用、医療費等、子育てに係る費用の負担軽減	1	2	3	4	5
⑩ 子どもの安心安全な活動場所・遊び場の確保	1	2	3	4	5
⑪ ワーク・ライフ・バランスへの配慮など、職場における理解や支援	1	2	3	4	5
⑫ 地域や社会全体での子育ての応援体制	1	2	3	4	5
⑬ 障害、貧困、ひとり親などさまざまな家庭への支援	1	2	3	4	5
⑭ 子育てサークルなどの交流・相談場所の充実	1	2	3	4	5
⑮ 学校教育の充実	1	2	3	4	5
⑯ 安価で良質な住宅の供給	1	2	3	4	5
⑰ その他（ ）	1	2	3	4	5

問15 「真のワーク・ライフ・バランスについて

※「真のワーク・ライフ・バランス」とは

京都都市が提唱する、仕事と家庭生活の両なる「時間のバランス」を超えて、人間らしくいきいきと効率的に働き、同時に育児や介護等の家庭生活も大事にする考え方です。また、地域活動や社会貢献活動が調和することで、人間力が高まり、心豊かな充実した人生を送ることができるという考え方です。



問15(1) 「真のワーク・ライフ・バランス」の実現のために、企業等にどのようなことに取り組んでほしいと思いますか。（○は3つまで）

- 長時間労働の抑制
- 年次有給休暇の取得促進
- 労働者の実情に配慮した短時間勤務など多様な働き方への対応
- パートタイム労働者の均衡待遇の推進
- テレワーク（在宅勤務）の普及促進
- 男性育児休業制度の推進
- 看護休暇等の定着
- 学校行事等に参加しやすい時間単位休暇制度などの導入
- どのような働き方をしても、公正に待遇・評価される人事制度の確立
- 地域活動等に関する休暇制度の導入
- その他（ ）
- 特にない

問15(2) 「真のワーク・ライフ・バランス」を積極的に推進したり、理解がある企業等についてどのように思いますか。（複数回答可）

- 将来発展するとと思う
- サービスを積極的に利用しようと思う
- 就職する際に、当該企業等を候補として検討したい
- 当然のことだと思う
- 競争社会で勝ち抜いていけると思う
- その他（ ）

（自由記述）本アンケートや行政に期待する支援施策に関するご意見等で、ご意見がございましたらご記入ください。

アンケートはこれで終わりです。ご協力ありがとうございました！